

花火による事故

幼児がサンダルを履いて花火をしていたところ、火花が足の甲に落ちてやけどしました。



Q

夏の風物詩である花火は、華やかで楽しい反面、火薬や火を使うことから、やけどなどの事故が起こる危険があります。

特に子どもは大人が予想もできない動きをすることがあるため、花火をする際には、大人が必ず付き添い、子どもの行動をよく観察し、危険な行為はすぐにやめさせましょう。

また、本体やパッケージなどに記載された注意事項（ルール）を守り、火が移りにくい素材の服や露出が少ない履物などを着用することも大切です。万が一事故にあった場合は、すぐに専門医を受診しましょう。

使用した花火の後始末も忘れずに、事故のない楽しい夏を過ごしましょう。



A

7月の消費生活相談（専門相談員による面談）

西濃6町のどこでも相談ができます（予約優先）。各会場とも午前10時～正午、午後1時～3時です。

相談会場	専門相談員配置日	電話番号
垂井町	7/ 3(火)、17(火)	22-1151
関ヶ原町	7/10(火)、24(火)	43-0070
養老町	7/ 2(月)、20(金)	32-1108

相談会場	専門相談員配置日	電話番号
神戸町	7/ 9(月)、23(月)	27-3111
輪之内町	7/ 5(木)、19(木)	68-0185
安八町	7/12(木)、26(木)	64-3111